

小池まさあき

事務所 成田市東町 155-3 TEL 0476-22-0688 FAX 0476-36-8538
E-mail koike@ngy.3web.ne.jp

プロフィール

<生年月日> 昭和 41 年(1966 年)9 月 18 日 <血液型>O 型 <趣味>スキー
<経歴> 三里塚小一遠山中一千葉日大一高一日大理工学部一日大大学院理工学研究科
平成 7 年成田市議会議員当選 以後 4 期当選 第 34 代成田市議会議長等を歴任
<現在> 県議会 県土整備常任委員会委員長 ちば自民党青年局 政策交流委員長



成田第 3 滑走路早期実現を望む署名 15 万人が視野に

羽田空港の国際線の充実が進んだ今年、成田空港の国際線旅客便は大きな影響を受けました。

訪日外国人が年間 1,300 万人を記録し、今後 2,000 万人を目指す国の方針からすれば、今後も成田空港を利用する旅客数は増加することも予想されています。

しかし、都心に近く利便性が高い羽田空港の更なる活用・充実を求める声も国内外から強くなり、日本の空の表玄関としての成田空港の地位低下を危惧しているところ です。

この状況に対して、地元経済団体を中心に首都圏の航空需要を引き続き成田で担い、結果として地域の発展に結びつけようとの思いで、成田空港の機能強化策を具現化すべく第 3 滑走路建設の実現を求める署名活動が今年の 4 月末から始まりました。

先月末 (H26.11.30) 現在で、137,359 人の署名が集まり、千葉県全体への広がりも徐々に見られ、新たに芝山町商工会もこの運動への参加が決定したことから、15 万人の署名が集まる見通しとなりました。これを受けて、年明けには国土交通省、関係する衆参国会議員、県などに対して具体的な要望活動に移る予定となっています。

騒音の影響を受ける空港周辺地域への対策や振興策の充実を図りながら、成田空港の機能強化を今まさに議論しなければならない時であると考えています。

成田地域の将来を占うこの運動、是非ご理解とご協力をお願い致します！



県内道路施設の老朽化対策は待ったなし！ 知事が財務大臣に要望

千葉県内では圏央道や北千葉道路などの幹線ネットワークの整備が進められている一方で、橋梁やトンネルの「高齢化」が急速に進んでいます。そして調査の結果、県内の道路施設は、全国平均よりも高齢化していることが判明しました。

建設後50年以上経過する割合

		平成25.3	10年後	20年後
橋 梁	千葉県	18%	46%	70%
	全国平均	18%	43%	67%
トンネル	千葉県	36%	59%	80%
	全国平均	20%	34%	50%

・ 20 年後に建設から 50 年以上経過する施設 橋梁 70%、トンネル 80%

・ 特にトンネルは 全国より 10 年以上早いペースで老朽化

今後、対策に充てる財源が大きな問題となってきますが、県民生活の安全と安心のために真正面から議論を進めなければなりません。

特急「あやめ」が廃止 JR 東日本2015年3月ダイヤ改正

JR 東日本は、去る 12 月 19 日、2015 年 3 月 14 日からのダイヤを発表しました。

これによると、千葉県内でも都市部を中心に歓迎すべき内容があった反面、地方部においては特急の廃止や本数減など大きな見直しとなっています。

今後本格的な人口減少時代に突入し、地方部において鉄道網のあり方が大きな問題となってくると予想していますが、県議会としてもその対策についてしっかりと認識し議論を進めて行きたいと考えています。

主な改正内容

特急列車関係

- ・ 特急「あやめ」の運転廃止
- ・ 特急「さざなみ」朝・夕夜時間帯上下 4 本（下り 1 本、上り 3 本）の運転取り止め
君津～館山間の運転を取りやめ全て東京～君津間に短縮
- ・ 特急「しおさい」昼時間帯上下 3 本（下り 2 本、上り 1 本）の運転取り止め
- ・ 特急「わかしお」昼時間帯上下 1 本（下り 1 本、上り 1 本）の運転取り止め

成田線関係

- ・ 成田線（我孫子方）を「上野東京ライン」経由で「品川駅」まで直通運転
成田 ⇒ 品川 2 本（朝） 品川 ⇒ 成田 3 本（夕夜）

成田エクスプレス関係

- ・ 成田空港に 12 時台に到着・発車する列車を増発
- ・ 早朝時間帯の 1 往復を取り止め

総武本線関係

- ・ 夜間帯に普通列車（千葉～佐倉間）を 1 往復増発
- ・ 早朝時間帯に成田空港行の「快速列車」を延長増発

「成田市場輸出拠点化研究会」が発足

国際空港を活かした戦略が徐々に動き出していますが、成田市では農林水産物の輸出拡大を図るため、成田市卸売市場の輸出拠点化を提案し、その実現に向けて具体的な動きが始まりました。

これまで私は、他の地域では出来ないことが出来る「成田」ならではの取り組みをすべきと考えてきましたが、その一つに農林水産物の輸出があります。

実際には、国内の多種多様な農林水産物のうち、航空ネットワークを利用して海外マーケットで通用する品目は限られるものの、日本の生産・加工技術を駆使することで新たな可能性も広がると考えています。

また成田空港は、輸出だけでなく農産物や水産物の輸入拠点としての性格も併せ持つことから、輸出入の拠点として全国にない市場を作り上げられる可能性を秘めていると考えます。

国、県や関係者が一堂に会して発足した「成田市場輸出拠点化研究会」。私自身も成田市の発展に寄与する戦略として積極的に関わり取り組んでいく所存です。

ごあいさつ

今年も残すところわずかとなりました。急な衆院解散と 12 月定例議会、そして私ごとですが身内の不幸もあり慌ただしい師走であったと感じています。

そして県議会議員としての任期も気が付けば残り 4 ヶ月。振り返ればあっという間の歳月でしたが、引き続き県政に参画させていただき、千葉県そして生まれ育ったふるさと成田市の更なる発展のために、4 月の県議会議員選挙に立候補をさせて頂く所存です。

今後も引き続きできる限りの活動を続けてまいりますので、ご支援を切にお願い申し上げますと共に、皆様に素晴らしい新年が訪れますことを心から祈念申し上げます。

千葉県議会議員 小池正昭